

# 新任幹部職員紹介及び行政組織の改正について

令和 4 年 4 月 1 8 日

総  
企  
財  
県  
危  
部

民  
機

務  
画  
務  
生  
管  
外

活  
理

部  
部  
部  
部  
部  
局

## <目 次>

- 1 幹部職員名簿 . . . . . 3
- 2 総務部、企画部、財務部、県民生活部、危機管理部組織図 . . . . . 8

## 総務常任委員会

【総務部】(18名) ※総務部次長、教育課長、教育課大学振興官は除く

局室	所 属	氏 名
	新県政推進室長兼総務部長	こばし ひろかず 小橋 浩一
	広報アドバイザー	ゆかわ 湯川 カナ
	総務部次長	(新) かげやま あきひこ 陰山 晶彦
	総務課長	(新) おぐら ようこ 小倉 陽子
秘書 広報室	新県政推進次長(調整担当)兼総務部次長・秘書広報室長	いのもと ちあき 井ノ本 知明
	広報プロデューサー	ありた よしひろ 有田 佳浩
	新県政推進参事(調整担当)兼秘書広報室参事・秘書課長	ないとう りょうすけ 内藤 良介
	儀典室長	あおた りょう 青田 亮
	広報広聴課長	(新) だんの れいこ 團野 礼子
	広報広聴課 広聴官	(新) ふくうら かずひろ 福浦 和広
	市町振興課長	うめだ たかお 梅田 孝雄
	市町振興課 市町連携推進官	(新) とみた けいいち 富田 慶一
	教育課長	(新) いいづか ちかこ 飯塚 知香子
	教育課 大学振興官	もりもと あきら 森本 昌
	法務文書課長	(新) しらい しげたか 白井 重孝
	法務文書課 県民情報官	(新) まえやま なおふみ 前山 尚文
職員局	新県政推進次長(職員担当)兼職員局長・元町プロジェクト外室長	はらだ こうじ 原田 剛治
	新県政推進参事(職員担当)兼人事課長	いづつ しんたろう 井筒 信太郎
	職員課長	(新) ながぞの いくみ 永園 郁美
	管財課長	みぞがき としひろ 溝垣 敏宏
元町プロジェクト外室	元町再開発課長	(新) ますざわ きよつぐ 増澤 清嗣

【企画部】(19名)

局室	所 属	氏 名
企画部長		(新) かじもと なおこ 梶本 修子
情報戦略監		あかざわ しげる 赤澤 茂
企画部次長		(新) のぎた こうぞう 野北 浩三
総務課長		(新) なかの やすのり 中野 恭典
総合 企画局	新県政推進次長(政策担当)兼総合企画局長	もりもと ゆたか 守本 豊
	新県政推進参事(政策担当)兼総合政策課長	かなざわ ともみち 金澤 友道
	総合政策課 SDGs推進官	(新) わたい つよし 綿井 剛
	広域調整課長	とみた けいいち 富田 恵一
	計画課長	(新) いわきり げんたろう 岩切 玄太郎
	計画課 水素・エネルギー専門官	(新) おおはら しげゆき 大原 成幸
	地域振興課長	(新) やまきた たかこ 山北 貴子
	地域振興課 歴史資源活用専門官	やました しろう 山下 史朗
万博 推進室	万博推進室長	(新) かわい ふみひこ 川井 史彦
	万博推進課長	(新) みやけ たかゆき 三宅 隆之
	情報政策課長	(新) まつもと たかひさ 松本 尚久
	デジタル改革課長	(新) やまぐち みつる 山口 充
	デジタル改革課 システム企画官	まえだ あきら 前田 晃
	統計課長	(新) いちむら たかこ 市村 高子
	統計課 統計分析官	あしや つねのり 芦谷 恒憲

【財務部】(9名)

所 属	氏 名
財務部長	(新) いなぎ ひろみつ 稲木 宏光
新県政推進次長(県政改革担当)兼財務部次長	ありた かずなり 有田 一成
新県政推進参事(財政担当)兼総務課長・財政課長	なかの ひでき 中野 秀樹
財政課 資金管理官	わだ ひろかず 和田 博一
税務課長	(新) さとう よしてる 佐藤 嘉晃
税務課 個人住民税特別対策官	(新) くらだ みさこ 黒田 美佐子
税務課 県税電子化特別対策官	(新) うの しんいちろう 宇野 慎一郎
税務課 不正軽油特別対策官	まるやま とおる 丸山 徹
新県政推進参事(県政改革担当)兼県政改革課長	ささい しょうご 篠井 省吾

【県民生活部】(11名)

所 属	氏 名
県民生活部長	しろ ゆみこ 城 友美子
県民生活部次長	(新) たけや あきひろ 竹谷 昭宏
新県政推進次長(ダイバーシティ推進担当)兼県民生活部次長	きむら あきこ 木村 晶子
人権参事	こたに ひろかず 小谷 寛和
総務課長	(新) きた かずみ 喜多 和美
総務課 人権推進官	(新) やまなか たかし 山中 節
県民生活課長	(新) にしたに みき 西谷 美貴
芸術文化課長	(新) よしむら こうじ 吉村 興二
生活安全課長	たていし ゆういち 立石 裕一
生活安全課 交通安全官	おおうち まさてる 大内 政照
男女青少年課長	(新) てらだ たかひろ 寺田 隆裕

【危機管理部】(9名)

所 属	氏 名
防災監兼危機管理部長	(新) えんどう えいじ 遠藤 英二
危機管理部次長	(新) しるした たかひろ 城下 隆広
危機管理部次長	(新) おのやま ただし 小野山 正
総務課長	(新) ただ あつお 多田 敦生
防災支援課長	(新) おくみ けいご 奥見 啓五
防災支援課 広域防災官	(新) みやざき しんいち 宮崎 伸一
災害対策課長	(新) ふじもと たけし 藤本 剛司
災害対策課 訓練・調整官	(新) つきのわ としろう 月輪 敏郎
消防保安課長	(新) なかみち かずよし 中道 一義

【出納局】(6名)

所 属		氏 名
会計管理者		(新) おぼた ゆきお 小畑 由起夫
	出納局長	いちまん たかあき 一幡 孝明
	工事検査室長	(新) たつ か あきろう 達可 明朗
	会計課長	(新) かかえ ひろき 抱 宏樹
	審査・指導課長	(新) こおりた ちから 郡田 力
	物品管理課長	(新) ふじわら のりあき 藤原 則昭

【議会事務局】(5名)

所 属		氏 名
議会事務局長		(新) たかなが とおる 高永 徹
	議会事務局次長	(新) かすたに ひろゆき 糟谷 浩行
	総務課長	(新) やまだ よしあき 山田 義明
	議事課長	(新) さかき たけなお 榭 丈直
	調査課長	よしづ けんいち 葦津 賢一

【監査委員事務局】(3名)

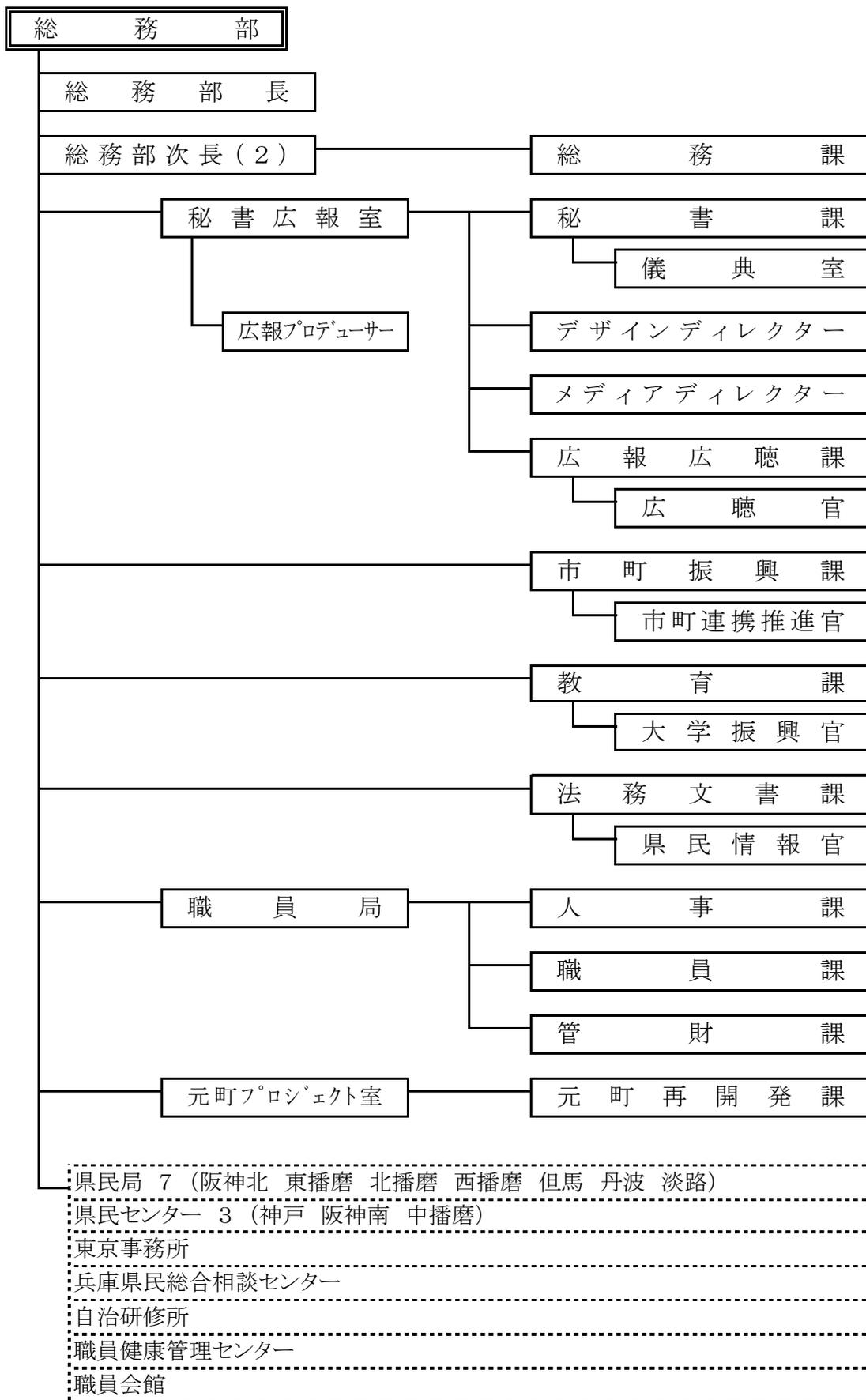
所 属		氏 名
監査委員事務局長		たかの しげや 高野 滋也
	監査委員事務局次長兼監査第1課長	(新) か の う けいこ 加納 恵子
	監査第2課長	(新) のたけ のぶゆき 野武 伸行

【人事委員事務局】(3名)

所 属		氏 名
人事委員会事務局長		(新) ふるかわ たくや 古川 卓哉
	任用課長	(新) にしたに ともこ 西谷 智子
	給与課長	(新) いのうえ ひろたか 井上 博尊

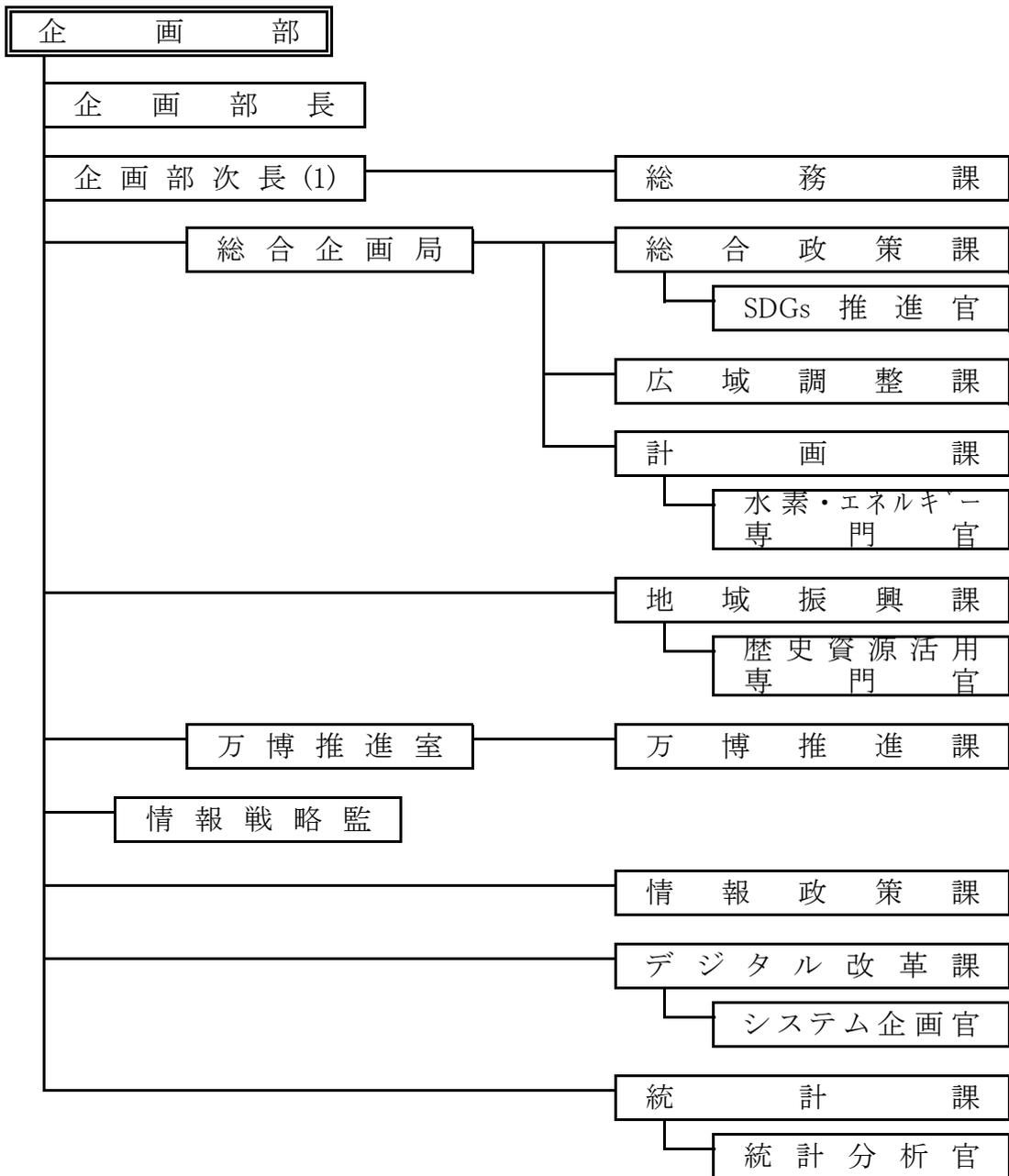
# 令和4年度 総務部組織図

(令和4年4月1日現在)



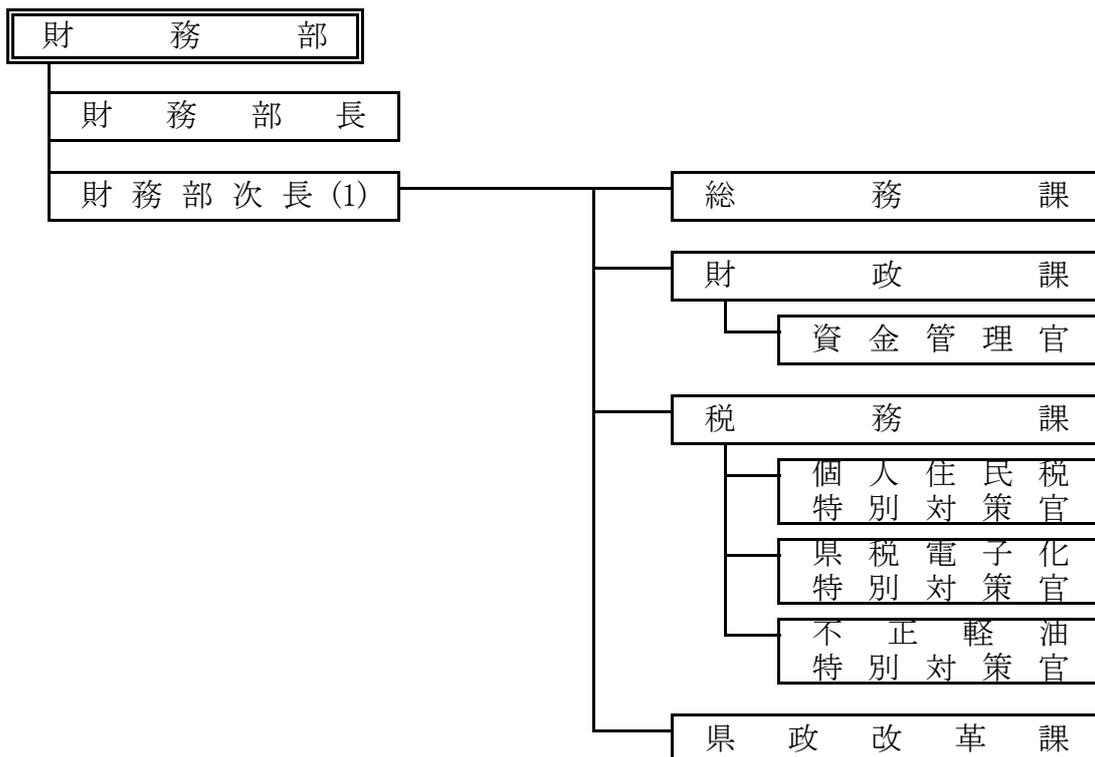
# 令和4年度 企画部組織図

(令和4年4月1日現在)



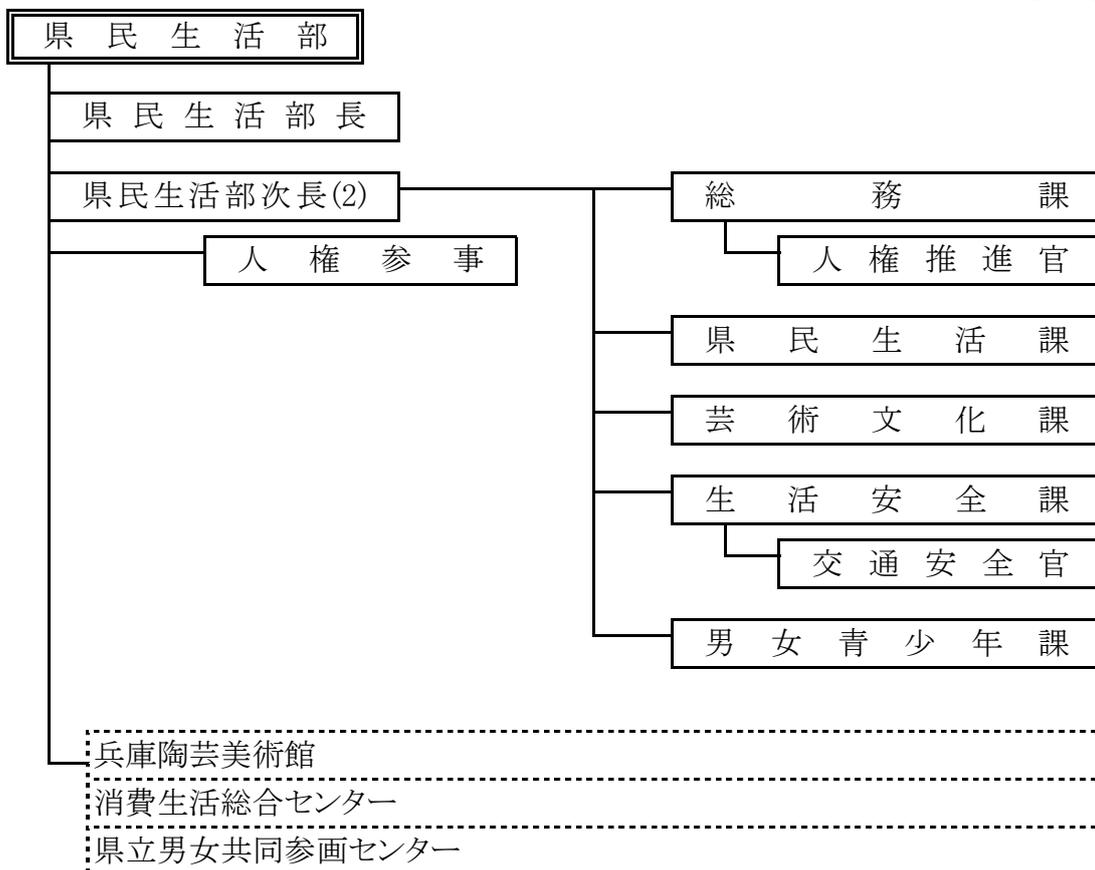
## 令和4年度 財務部組織図

(令和4年4月1日現在)



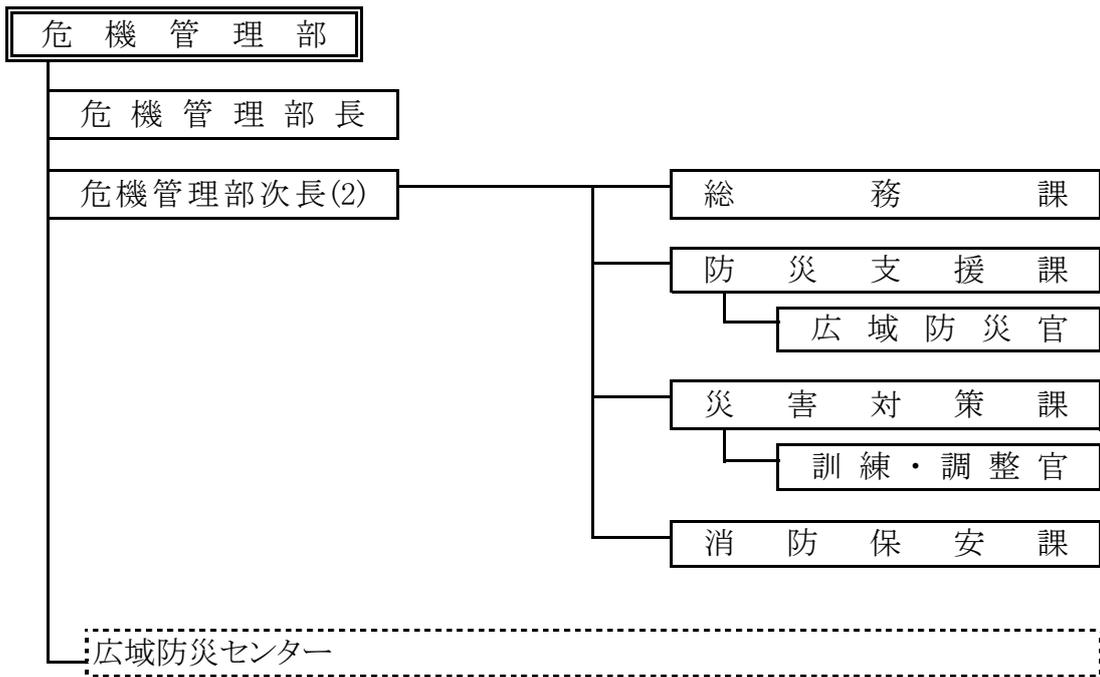
## 令和4年度 県民生活部組織図

(令和4年4月1日現在)

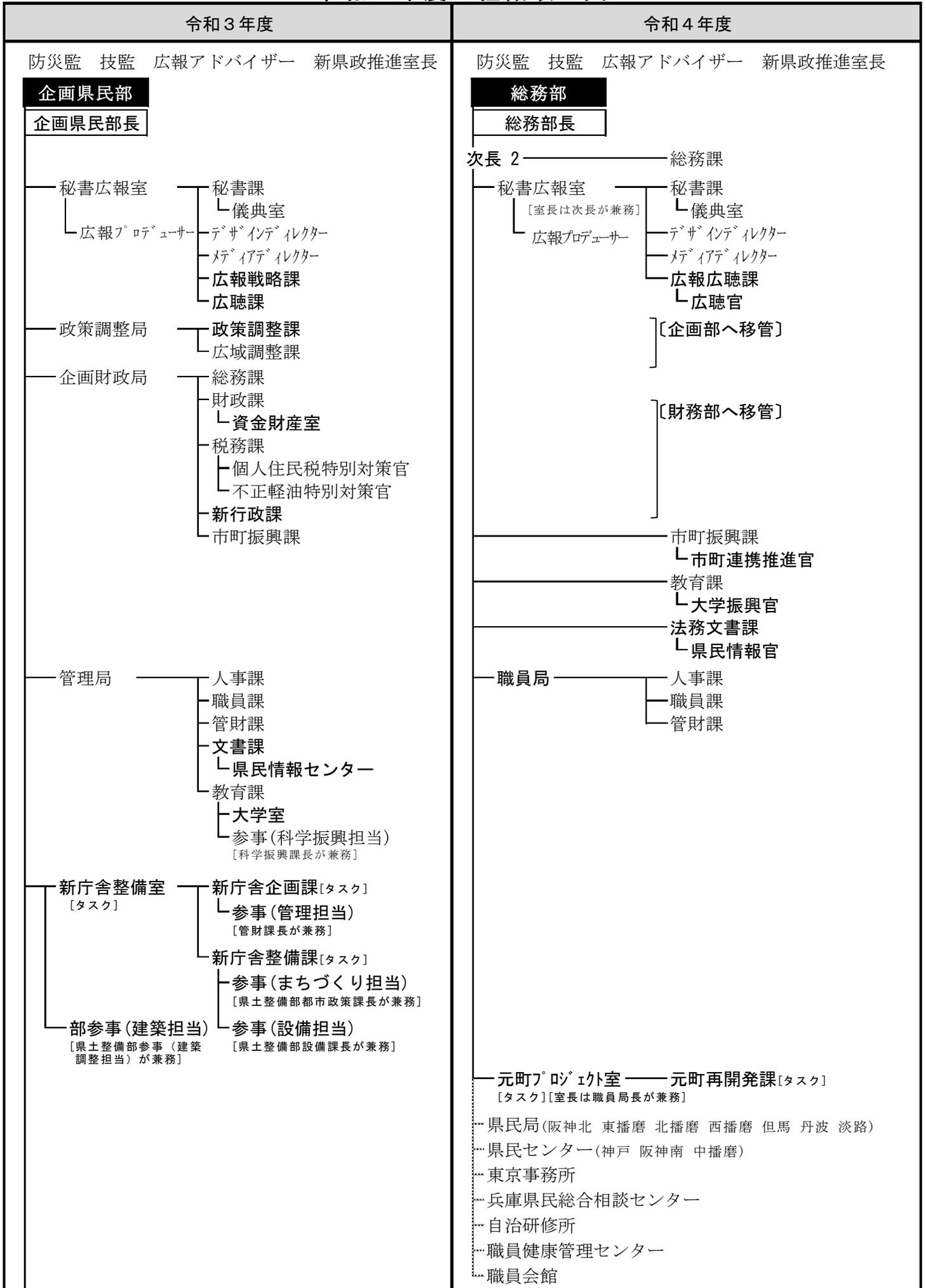


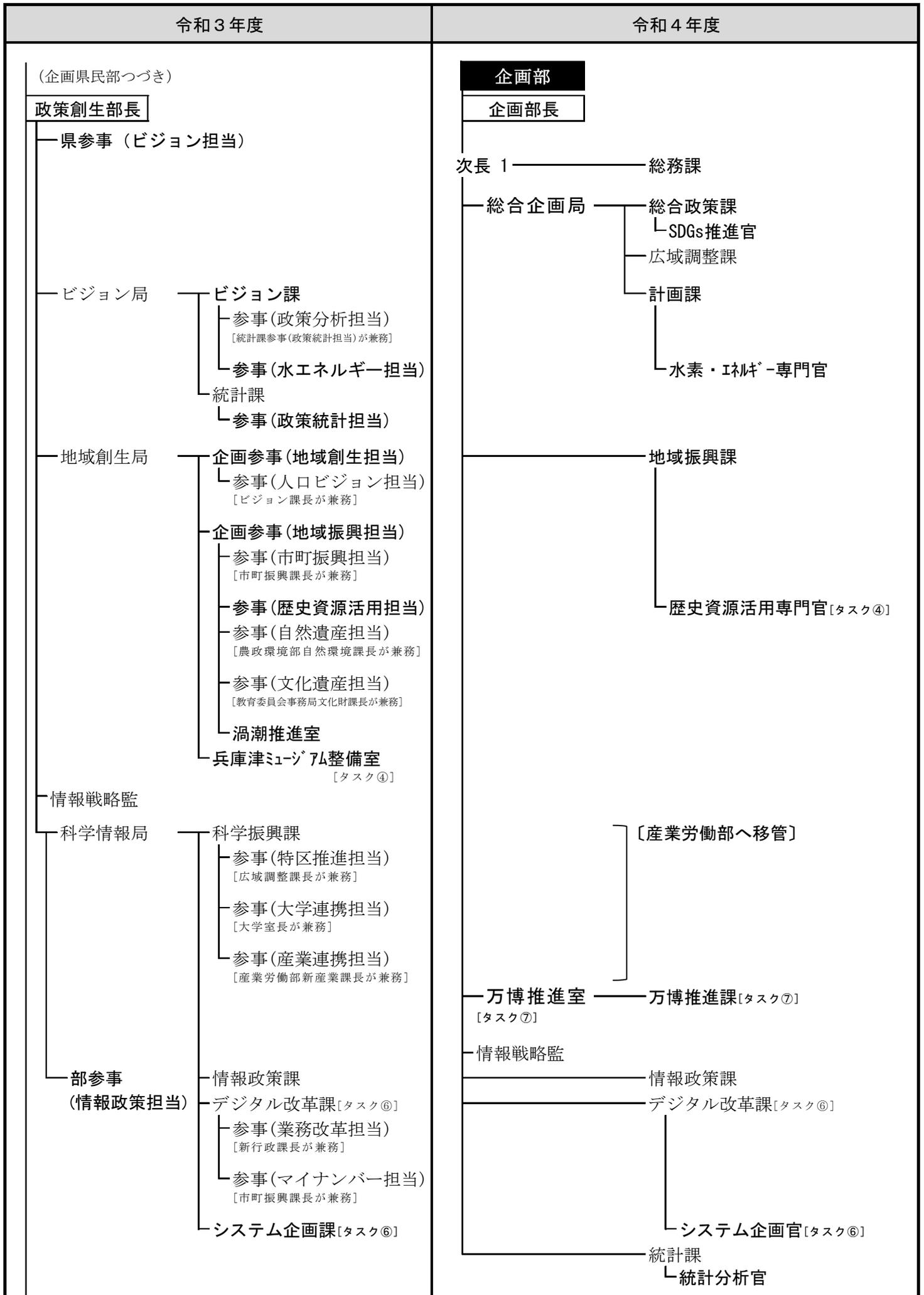
# 令和4年度 危機管理部組織図

(令和4年4月1日現在)



# 令和4年度 組織改正図





(企画県民部つづき)

県民生活部長

県民生活局

- 県民生活課
- 芸術文化課
- 消費生活課
- 地域安全課
- 交通安全室

部参事

(生涯学習振興担当)  
[教育次長が兼務]

女性青少年局

- 男女家庭課
  - 参事(少子対策担当)  
[健康福祉部こども政策課長が兼務]
  - 参事(雇用両立支援担当)  
[産業労働部労政福祉課長が兼務]
  - 参事(起業支援担当)  
[産業労働部新産業課長が兼務]
- 青少年課

【防災監所管】

防災計画監

[ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター副センター長が兼務]

防災企画局

広域防災参事

- 防災企画課
- 広域企画室
- 防災支援課[タスク⑤]

災害対策局

- 災害対策課
  - 訓練・調整参事
- 消防課
- 産業保安課

- 県民局(阪神北 東播磨 北播磨 西播磨 但馬 丹波 淡路)
- 県民センター(神戸 阪神南 中播磨)
- 兵庫県民総合相談センター
- 東京事務所
- 自治研修所
- 職員健康管理センター
- 職員会館
- 兵庫陶芸美術館
- 消費生活総合センター
- 県立男女共同参画センター
- 広域防災センター

財務部

財務部長

次長 1

- 総務課
- 財政課
  - 資金管理官
- 税務課
  - 個人住民税特別対策官
  - 県税電子化特別対策官
  - 不正軽油特別対策官
- 県政改革課

県民生活部

県民生活部長

次長 2

人権参事

- 総務課
  - 人権推進官
- 県民生活課
- 芸術文化課
- 生活安全課
  - 交通安全官
- 男女青少年課

- 兵庫陶芸美術館
- 消費生活総合センター
- 県立男女共同参画センター

危機管理部

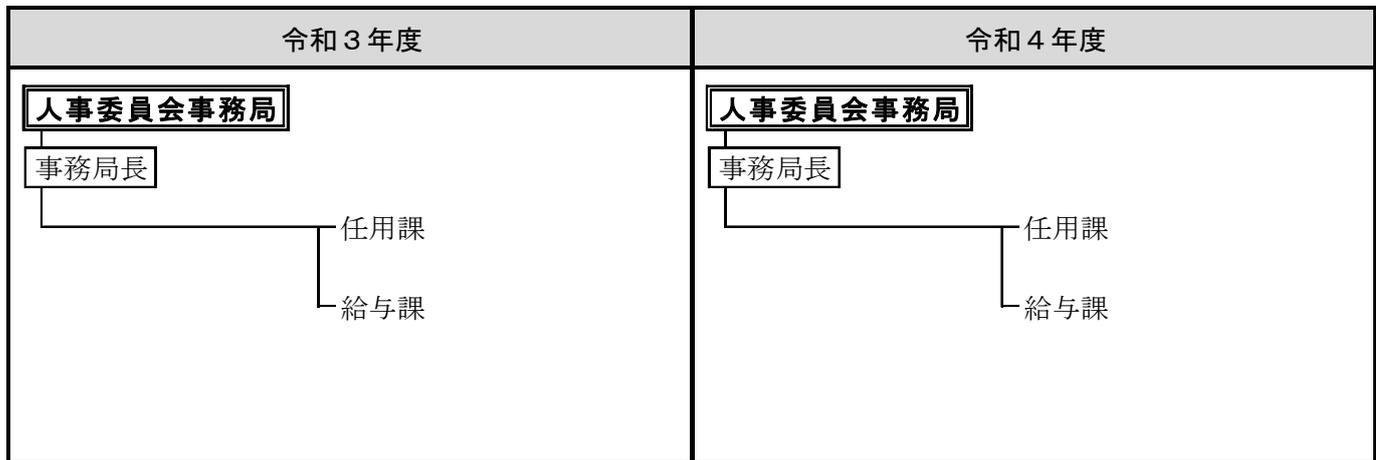
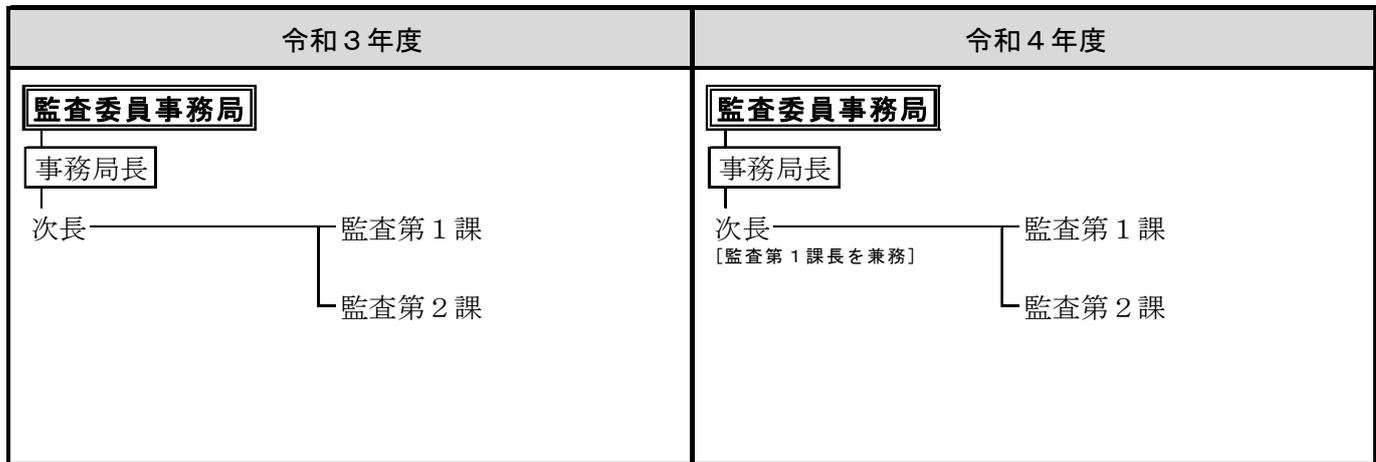
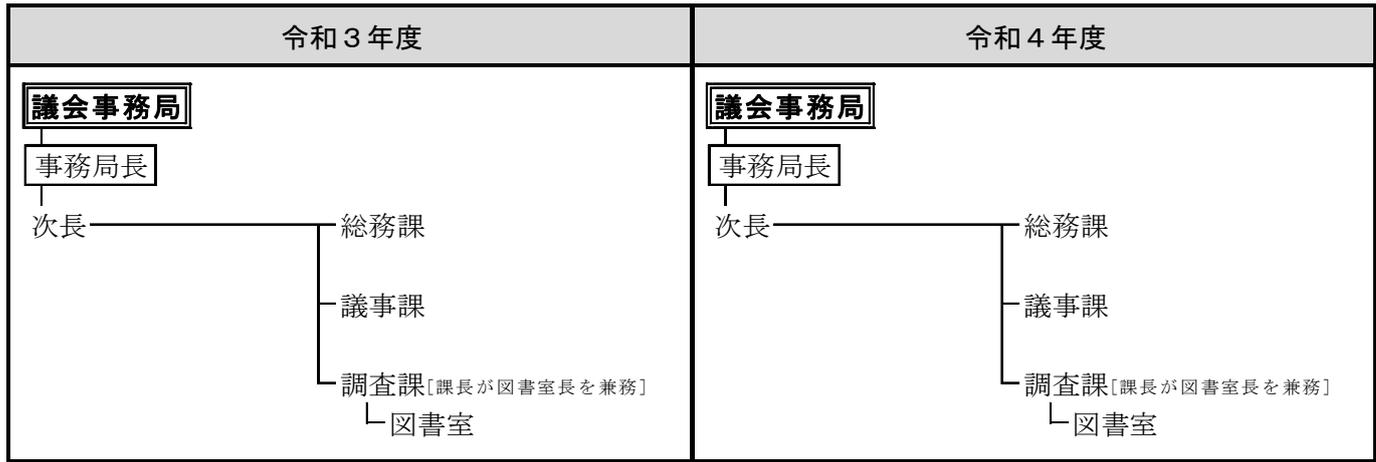
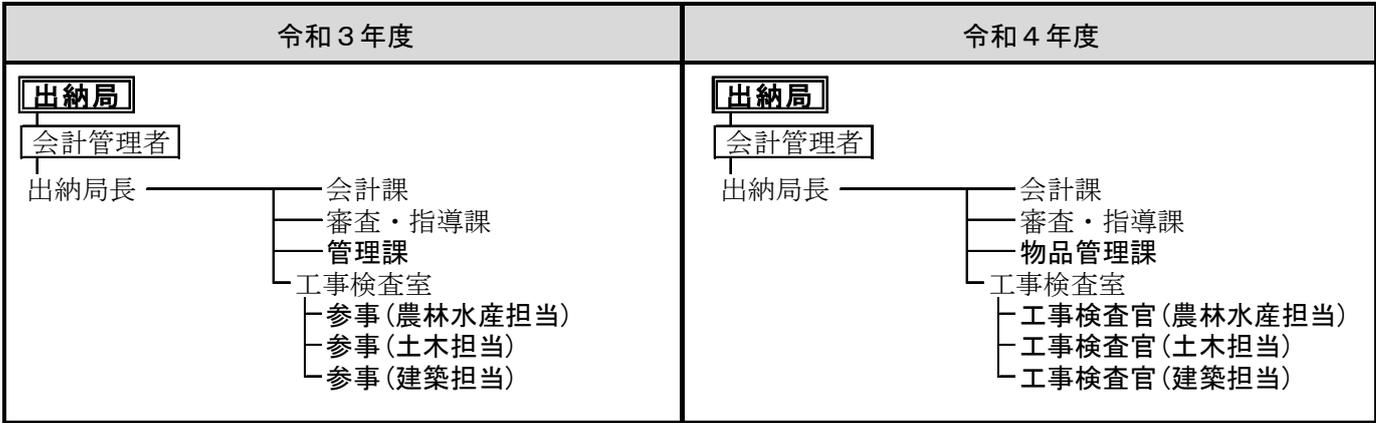
危機管理部長

[防災監が兼務]

次長 2

- 総務課
- 防災支援課
  - 広域防災官
- 災害対策課
  - 訓練・調整官
- 消防保安課

広域防災センター



# 21 世紀兵庫長期ビジョン等の推進及び エネルギー対策等の推進について

令和 4 年 4 月 1 8 日

企 画 部  
総 合 企 画 局  
計 画 課

## <目 次>

### I 「ひょうごビジョン2050」の推進

- 1 「ひょうごビジョン2050」の概要 ..... 3
- 2 地域ビジョンの概要 ..... 7
- 3 新たな推進体制 ..... 9

### II エネルギー対策等の推進

- 1 水素社会の実現に向けた取組の推進 ..... 12
- 2 海洋エネルギー資源開発の推進 ..... 15
- 3 発電所周辺地域の振興 ..... 16

### III 総合的な水資源対策等の推進

- 1 ひょうご水ビジョンの展開 ..... 17
- 2 水資源対策の推進 ..... 17

# I 「ひょうごビジョン2050」の推進

21世紀兵庫長期ビジョンの策定から20年、改訂から10年が経ち、社会が大きく変化する中、兵庫のめざす姿を改めて指し示すひょうごビジョン2050を策定した。

## 1 「ひょうごビジョン2050」の概要

### (1) ビジョンの役割

- ① 基本的な性格
  - ・ 県民が共にめざす姿を描く
  - ・ 県民が主役になり、地域から取り組む
  - ・ 変化を生み出し、成長する
- ② 展望年次
  - ・ 私たちの子や孫が生きる30年先の2050年頃のめざす姿を描く
- ③ 県政上の位置づけ
  - ・ 県が進める政策の羅針盤として運用
- ④ 全県と地域
  - ・ 全県ビジョンと一体的に9つの地域ごとの地域ビジョンを策定

### (2) 社会潮流の変化

- ・ 人口減少・超高齢化
- ・ 地球からの警鐘
- ・ テクノロジーの進化
- ・ 世界の成長と一体化
- ・ 経済構造の変容
- ・ 価値観と行動の変化

### (3) 兵庫の強み

- ・ 五国の個性
- ・ 進取の気風 ～ 開放的な地域性 ～
- ・ 培ってきた地力

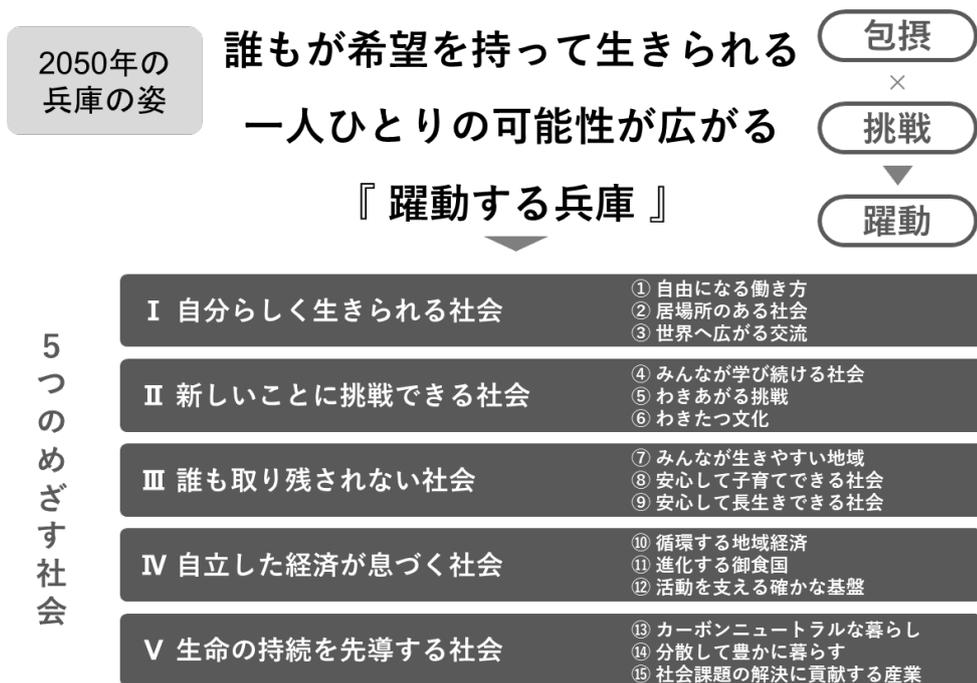
### (4) 策定の視点

- ・ 県民の想いに共通し、兵庫の強みでもある「開放性」をキーワードに描き取り組む

### < 県民の想い >

- ・ 多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を
- ・ 自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を
- ・ 人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を
- ・ 未来を担う次代のために社会の「持続」を

### (5) めざす姿



[参考：策定プロセス]

(1) 経緯

- 2019年 9月 将来構想研究会発足、新ビジョンの検討に着手
- 2020年 7月 長期ビジョン審議会発足、審議会へ新ビジョンの策定を諮問
- 2021年 2月 将来構想研究会が新ビジョン検討のたたき台「将来構想試案」を発表
- 4月 審議会の下、全県版の起草に当たる新ビジョン企画委員会が発足
- 2022年 2月 審議会より新全県ビジョン案を答申
- 3月 県議会で「ひょうごビジョン 2050」を議決

(2) 長期ビジョン審議会 (34人)

知事諮問を受け、新全県ビジョン策定に関する重要事項の審議を4回に亘り実施し案を答申

<検討経過>会議を計4回開催 (2020~21年度)

- 2020年 7月 第1回 (知事の諮問を受け、新ビジョンの策定方針を審議)
- 2021年 2月 第2回 (将来構想試案の報告を受け、新全県ビジョンの方向性を審議)
- 2021年 10月 第3回 (新全県ビジョン骨子案を審議)
- 2021年 12月 第4回 (新全県ビジョン本体案を審議)
- 2022年 2月 新全県ビジョン案答申

(3) 新ビジョン企画委員会 (11人)

長期ビジョン審議会のもと、新全県ビジョンの内容を検討する委員会を設置し、3回の討議を経て、新全県ビジョン案を作成

<検討経過>会議を計3回開催 (2021年度)

- 2021年 4月 第1回 (新ビジョンのコンセプト、伝わるビジョンのあり方を討議)
- 2021年 9月 第2回 (新全県ビジョン骨子案を討議)
- 2021年 11月 第3回 (新全県ビジョン本体案を討議)

(4) 将来構想研究会 (2019~20年度 計14回開催)

人口減少・偏在化、県民の価値観の変化、科学技術の進展等の社会潮流の調査研究を行い、新全県ビジョンのたたき台となる「将来構想試案」を作成

<将来構想試案>

<p><b>個性の追求</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分らしさを追求できる社会</li> <li>② 活力を支える健康</li> <li>③ あふれる学びの場</li> <li>④ 沸き立つ起業</li> <li>⑤ 磨かれる五国の個性</li> <li>⑥ ものづくり産業の革新</li> <li>⑦ 進化する御食国</li> </ul>	<p><b>開放性の徹底</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 多文化が入り混じる兵庫</li> <li>⑨ 世界に貢献する兵庫人</li> <li>⑩ なくなるジェンダーバイアス</li> <li>⑪ 活躍するシニア</li> <li>⑫ ユニバーサルな地域</li> <li>⑬ バーチャルが拓く可能性</li> </ul>	<p><b>つながりの再生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭ つながりを広げ、深める家族</li> <li>⑮ 楽しく子育てできる社会</li> <li>⑯ 最期まで安心して暮らせる社会</li> <li>⑰ 広がる縁</li> <li>⑱ スポーツが育むつながり</li> <li>⑲ 進む地域経済循環</li> <li>⑳ 自分たちでつくる地域</li> </ul>
<p><b>集中から分散へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑳ 都市と田舎の共生</li> <li>㉑ 自然と共にある暮らし</li> <li>㉒ 自由になる働き方</li> <li>㉓ 軽くなる住まい</li> <li>㉔ 快適になる移動</li> <li>㉕ 進化する自治体</li> </ul>	<p><b>美の創生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>㉖ ともに創るまち</li> <li>㉗ 引き継がれる風景</li> <li>㉘ 甦る豊かな自然</li> <li>㉙ 息づく芸術文化</li> <li>㉚ 広がる生活文化産業</li> </ul>	<p><b>次代への責任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>㉛ 人に投資する社会</li> <li>㉜ 開かれた学校</li> <li>㉝ 未知の領域への挑戦</li> <li>㉞ 地域のエネルギー自立</li> <li>㉟ カーボンニュートラルな暮らし</li> <li>㊱ 危機に強い地域</li> <li>㊲ 安全を支える強靱な基盤</li> <li>㊳ 受け継がれる地域</li> </ul>

## (5) 県民との意見交換

### ① ビジョンを語る会

地域の様々な団体や有志グループと地域の課題や将来像について車座形式で対話

<開催回数> 計 95 回、約 2,100 人と意見交換

場所	回数	主な対象者
本 庁	5 回	若手経営者の会、県内大学生、商工会議所女性会、商工会連合会、工業会
神 戸	4 回	地域デザイン会議メンバー、青年農業士、小売市場連合会、若手有志
阪神南	9 回	ツーリズム推進協議会、こくさいひろば芦屋、商工会議所、森の会議、大学生 等
阪神北	10 回	こみんか学生拠点、経済交友会、商工会議所青年部、コミュニティ協議会 等
東播磨	7 回	商店街、若手事業家、農業協同組合、商工会議所青年部、高校生 等
北播磨	12 回	特産品クラブ、商工会女性部、移住者、子育て支援ルームのママ、農業関係者 等
中播磨	10 回	自治会、観光交流関係者、青年会議所、大学・高校生、PTA・消防団、商工会 等
西播磨	12 回	商工会議所青年部・女性会、商工会、まちづくり関係者、高齢者文化大学 等
但 馬	9 回	地域ビジョン委員、青年会議所、子育てママ・パパ、女性農業士、UI ターン者 等
丹 波	8 回	青年会議所、子育てママ、丹波の森大学、青年農業士、若手起業家 等
淡 路	9 回	女性グループ、温泉組合、建設業協会、企業若手職員、若手市職員 等

### ② ビジョン出前講座

グループワーク形式等で兵庫の未来を考える出前講座を高校、大学等で実施

<主な実施先> 計 18 回、約 2,000 人と意見交換

学校名等	対象	参加者数	学校名等	対象	参加者数
県立出石高校	文理探究 2 年生	14 人	神戸大学大学院	工学研究科 1 年生	40 人
県立村岡高校	1・3 年生	27 人	大阪市立大学	商学部 3 年生	8 人
県立洲本実業高校	1~3 年生	20 人	神戸山手女子高校	1~3 年生	220 人
県立川西明峰高校	グローバルキャリア 2 年生	22 人	兵庫教育大学	3 年生	40 人
県立三田祥雲館高校	1 年生	200 人	灘高校	3 年生	38 人
県立篠山産業高校	2 年生	147 人	関西学院大学	法・経済学部 1 年生	870 人
県立兵庫高校	創造科学科 1 年生	40 人	甲南大学経済学部	2 年生	45 人
神戸大学	農学部 3・4 年生	22 人	県立夢野台高校	1 年生	240 人

### ③ 地域未来フォーラム

新ビジョンの方向性をテーマに地域別にワークショップや意見交換を実施

<開催回数> 2020 年度：7 回、約 500 人 2021 年度：10 回、約 100 人

地域	2020 年度	2021 年度
神 戸	2/23 (火・祝)	11/26(金)
阪神南	8/1 (日)	10/28(木)
阪神北		11/13(土)
東播磨	8/8 (日)	11/20(土)
北播磨	2/20 (土)	11/1(月)
中播磨	コロナにより中止	11/14(日)
西播磨	コロナにより中止	11/9(火)
但 馬	3/28 (日)	10/30(土)
丹 波	3/14 (日)	11/24(水)
淡 路	3/13 (土)	11/12(金)

#### ④ 兵庫県版Decidim（登録者 338 人）

新ビジョン検討への参画の輪を広げるため、オンラインで意見交換を行う場を設定

<実施実績> 2021年3月～ 将来構想試案について意見交換

2021年12月～「ひょうごビジョン2050」案について意見募集

年代	人数	割合	年代	人数	割合
2000年代生	220人	65.1%	1960年代生	16人	4.7%
1990年代生	32人	9.5%	1950年代生	8人	2.4%
1980年代生	35人	10.4%	1940年代生	2人	0.6%
1970年代生	25人	7.4%	合計	338人	100.0%

#### ⑤ グループインタビュー、個別ヒアリング

先進的な活動に取り組む地域のキーパーソン等を対象インタビューやヒアリングを実施

<開催回数>

##### ○ グループインタビュー

[対象者] 新地域ビジョン検討メンバー 34人

[時期回数] 2021年4月 4回

##### ○ フォーカスグループインタビュー（将来構想試案6本柱ごとにテーマ別開催）

[対象者] 地域のキーパーソン等 41人

[時期回数] 2021年3～4月 6回

##### ○ 個別ヒアリング

[対象者] 地域のキーパーソン・先進的な活動をする事業者等 45人

[時期] 2021年3～8月

#### ⑥ 県民意識調査、パブリックコメント

広く県民意識等を問うアンケートやパブリックコメントを実施

<実施実績>

##### ○ 県民モニター調査「今般のコロナ禍の影響と今後の展望」

[調査対象] 県民モニター 2,130人

[調査期間] 2020年6月9日～6月22日

[調査方法] 県ホームページ上のアンケートフォームに入力

[回答者数] 1,250人（回答率 58.7%）

[調査項目] 生活への影響、社会のあり方、自由記述の3問で構成

##### ○ 県民意識調査「兵庫の未来を考える」

[調査対象] 5,000人

[調査期間] 2020年11月19日～12月11日

[調査方法] 郵送法（ハガキによる督促1回）

[回答者数] 3,041人（60.8%）

[調査項目] 理想的な働き方、テレワーク、学校教育で大切なこと、科学技術の発展、期待する地域社会の将来像 など

○ 県民モニター調査 「兵庫県将来構想試案への意見」

[調査対象] 県民モニター2,190 人

[調査期間] 2021 年 4 月 8 日～22 日

[調査方法] 県ホームページ上のアンケートフォームに入力

[回答者数] 1,073 名 (回答率 49.0%)

[調査項目] 将来構想試案の 39 の未来シナリオのうち、重視すべきシナリオ 3 つとその理由

○ 県民意見提出手続 (パブリック・コメント)

[意見募集期間] 2021 年 12 月 24 日～2022 年 1 月 13 日 (21 日間)

[意見提出方法] 電子メール、Fax、郵送

[意見提出件数] 94 件 (27 人)

[意見対応状況] 反映：21 件 記載済み：24 件 今後の参考：16 件 その他：33 件

⑦ 県内市町、県庁職員からの意見聴取

<実施実績>

区分	調査概要
市町ヒアリング	[訪問調査] 全 41 市町 [意見照会] 全 2 回
兵庫県庁 新規採用職員研修課題	[対象者] 2021 年度新規採用職員 [調査内容] 将来構想試案の 39 の未来シナリオに関する意見募集 [回答者数] 324 人中 306 人回答
兵庫県庁 若手職員による意見交換会	[テーマ] 兵庫の未来を考える [対象者] 本庁 5 回計 27 人 県民局・県民センター 11 回計 101 人

2 地域ビジョンの概要

(1) 二層構造のビジョン

多様な地域からなる兵庫の強みをさらに伸ばすため、9つの地域ビジョンを策定



## (2) 新地域ビジョン検討委員会

新地域ビジョンの策定主体となる「新地域ビジョン検討委員会」を各地域に設置。地域の資源や課題の調査、新地域ビジョン案の起草、公開の討議の場の企画運営等を実施

<実施実績> 計 140 人 58 回開催

地域	委員長氏名	所属・役職	委員数	開催回数
神戸	星 敦士	甲南大学文学部社会学科教授	14名	3回
阪神	赤澤 宏樹	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授	18名	7回
東播磨	田端 和彦	兵庫大学副学長	14名	8回
北播磨	田中 雅和	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授	17名	5回
中播磨	宇高 雄志	兵庫県立大学環境人間学部教授	15名	6回
西播磨	谷口 泰司	関西福祉大学社会福祉学部教授	15名	6回
但馬	草郷 孝好	関西大学社会学部教授	17名	7回
丹波	角野 幸博	丹波の森公苑長、関西学院大学建築学部教授	15名	6回
淡路	山本 聡	兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科教授	15名	10回

## (3) 地域デザイン会議

県民有志が討議を重ねて将来の地域デザインを描くワークショップを開催し、新地域ビジョン検討の一環として、県民が感じている地域課題、県民が望む生き方や地域の将来像を抽出

<実施実績>

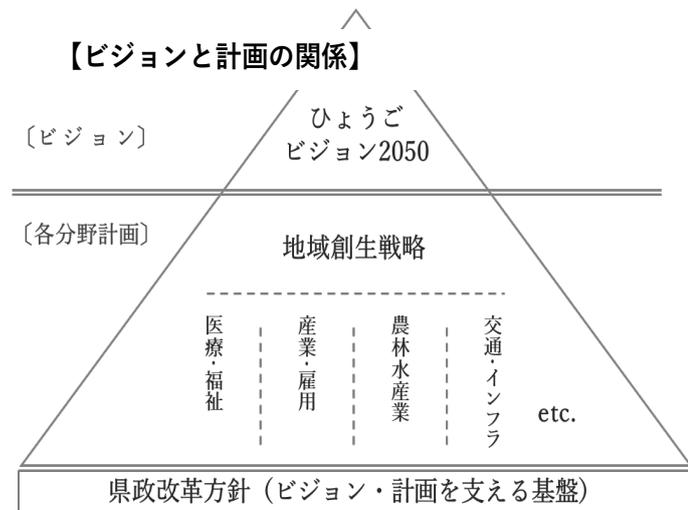
地域	内容
神戸	〔参加者〕神戸在住・在学の学生10名と神戸で先進的な取組を展開する企業人・起業家11名 〔進め方〕学生・企業人の各グループ会議と合同会議全5回開催
阪神	〔参加者〕阪神地域に在住、または在住・在学経験のある20代～40代社会人20名 〔進め方〕全体・個別ミーティング全8回（テーマごとに4チームに分かれ検討）
東播磨	〔参加者〕東播磨地域にある高等学校（全5校 約310名） 〔進め方〕各高校の探究授業などで調査、研究された地域の課題に対する提言発表を活用
北播磨	〔参加者〕北播磨在住・在勤・在学、または北播磨地域の将来像に関心のある20～40代の43名 〔進め方〕全5回、テーマごとに実施
中播磨	〔参加者〕中播磨地域に在住、または在勤・在学している10代～80代24名 〔進め方〕全5回のワークショップにより中播磨の魅力・課題の整理、将来像の提案を取りまとめ
西播磨	〔参加者〕西播磨地域に在住の30代～70代 30名 〔進め方〕計5回のワークショップを通じ、西播磨の課題・魅力の整理、地域のなりたい姿を検討
但馬	〔参加者〕但馬地域在住の10代～70代の一般県民の89名 〔進め方〕ワークショップ全3回、議論を踏まえ、新地域ビジョン検討委員会（17名）で検討
丹波	〔参加者〕丹波地域に在住の20代～40代社会人や大学生55名 〔進め方〕丹波地域の2050年の未来のアイデアを1,000個生み出し、冊子化 全5回
淡路	〔参加者〕淡路島内在住・在学の10代～60代 計24名 〔進め方〕計3回のワークショップの開催とオンラインミーティングを通じて地域デザイン案を検討

### 3 新たな推進体制

#### (1) ビジョン実現に向けた実行プログラムの推進

地域創生戦略をはじめ各分野計画をビジョンの実行プログラムと位置づけ

2022年度は、最も総合的な計画である地域創生戦略を改定。各分野計画も計画期間に応じて順次改定。ビジョン実現を先導する重点プロジェクトを設定



#### (2) 県民主役のビジョン推進

地域ビジョン実現に向けたプロジェクトを企画・協議する場を各地に設置。併せて、県民が地域の未来を語り合い、考える場づくりを各地で展開

#### 【企画・協議する場】

##### ① 既存の取組との連携を含め、プロジェクトを企画・コーディネート

- ・シンボリックな取組を推進
- ・県民・団体・企業など多くの主体を巻き込む
- ・民間主体の地域活動・ビジネス・人材・事業をつなぐ

##### ② 対話・学びの場を設定し地域社会と若者・県民をつなぐ

- ・キーパーソン、ユニークな企業・団体、すごいすと等との接点をつくる
- ・対話・学びの場を通じて、若者等をプロジェクト参画につなぐ
- ・対話・学びの場・SNS等を活用し ビジョンや取組を分かりやすく発信

#### (3) 推進状況の見える化

従来の県民意識調査指標の見直しを図り、新兵庫ゆたかさ指標によるビジョンのフォローアップを実施。毎年度の推進状況を公表、状況に応じた見直しに柔軟に対応

#### <参考：21世紀兵庫長期ビジョンの評価点検>

「兵庫のゆたかさ指標」による県民意識調査を基に、将来像に関連する55の調査項目でビジョンの実現状況を分析。県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例に基づき、毎年の推進状況を議会報告

#### [令和3年度評価結果]

- 調査項目ごとに5段階で得られた回答（1.そう思う～5.そう思わない等）を肯定的なものから5点～1点に点数化
- 将来像ごとに平均点を算出し、10点満点に換算

兵庫 の ゆたかさ 指標	4つの 社会像	12の将来像	R2(a)	R3(b)	(b)-(a)	
	創造的 市民社会	①	人と人のつながりで自立と安心を育む	7.10	7.05	-0.05
		②	兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する	6.64	6.54	-0.10
		③	次代を支え挑戦する人を創る	6.44	6.39	-0.05
	しごと 活性社会	④	未来を拓く産業の力を高める	5.37	5.38	+0.01
		⑤	地域と共に持続する産業を育む	6.00	5.94	-0.06
		⑥	生きがいにあふれたしごとを創る	5.99	6.01	+0.02
	環境 優先社会	⑦	人と自然が共生する地域を創る	6.21	6.15	-0.06
		⑧	低炭素で資源を生かす先進地を創る	7.26	7.18	-0.08
		⑨	災害に強い安全安心な基盤を整える	6.32	6.28	-0.04
	多彩な 交流社会	⑩	地域の交流・持続を支える基盤を整える	6.35	6.30	-0.05
		⑪	個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す	6.98	6.95	-0.03
		⑫	世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ	5.48	5.38	-0.10
合計			76.15	75.56	-0.59	

#### (4) 情報発信

「ひょうごビジョン2050」ポータルサイトを開設し、動画やSNSなど多彩なコンテンツを展開。広く県民への浸透を促し「見て、読んで、共感し、行動につなげる」ビジョンの推進を図る

<ポータルサイト>

## ポータルサイト「ひょうごビジョン2050」

見て、読んで、共感し、行動につなげるビジョンにしたい。  
ビジョンの背景にあるデータや県民の皆さんの声も掲載しています。

ひょうごビジョン

検索

https://hyogo-vision.com/

5つの  
メニュー

<主なコンテンツ>

項目	内容
ひょうごの強み	五国の個性、進取の気風を育んだ歴史、ものづくり産業、多彩な地場産業、科学技術基盤などの強みを掲載
未来を考える 100 のデータ	ビジョンの背景にある社会変化の潮流を示す 100 のデータを掲載（人口減少、気候変動、テクノロジーの進化、世界人口の拡大、産業構造 等）
未来を照らす 1000 の語り	策定プロセスで行った県民との様々な意見交換のなかで収集した 1000 の意見を掲載
地域ビジョン・コンテンツ	9つの地域ビジョンの内容と策定プロセス、今後推進していく取り組みを順次掲載
インタビュー動画	策定プロセスに参画した有識者や地域のキーパーソン、県内で先進的な取組を行っている地域や県民、企業を順次、YouTube 動画で紹介
T w i t t e r	ポータルサイトの新着情報のお知らせや、新ビジョンへの意見交換、意見募集などを実施
普及版冊子	本体版冊子に加え、若者向け、子ども向けに、県民へのビジョン浸透を広く図る普及版冊子を作成予定（配布・HP掲載）

## II エネルギー対策等の推進

### 1 水素社会の実現に向けた取組の推進

水素社会の実現に向けた取組の方向性等を示す「兵庫水素社会推進構想」（平成31年3月策定）のもと、2050年カーボンニュートラルへの貢献が期待される水素エネルギーの普及拡大を図る。

#### (1) 「兵庫水素社会推進構想」の概要

県としてめざすべき水素社会の姿を共有し、水素社会の実現に向けた取組の方向性を提示

##### [取組の方向性]

##### 水素利活用の拡大、社会への普及を図る [短期的取組]

- ・ FC モビリティ（FCV、FC バス等）の普及促進
- ・ 燃料電池（家庭用、業務・産業用）の普及促進
- ・ 水素関連分野の技術開発や新たな事業創出等への支援
- ・ 水素への理解向上に向けた普及啓発

##### 水素大量消費時代を見据えた対応を図る [中長期的取組]

- ・ 低コストな水素利用の実現  
（水素受入基地の立地、水素ガスタービン発電の導入）
- ・ 再エネ等地域資源を活用したエネルギー自立型社会の実現

##### 水素社会の実現

##### 県としてめざす水素社会の姿（2050年頃）

##### 環境に優しい脱炭素社会

- ・ CO<sub>2</sub>排出量が低減し、温暖化対策に貢献
- ・ 水素の蓄エネ機能等を活用し、高効率なエネルギー利用が実現

##### 県民の快適で安心な暮らしが守られている社会

- ・ 燃料電池等の活用により非常時にも安定的にエネルギー供給ができ、安心な暮らしが確保
- ・ エネルギーセキュリティにも寄与

##### 経済の好循環が生まれ、産業や地域が活性化している社会

- ・ 企業集積や新規参入が促進され、地域経済が活性化

## (2) 令和4年度の取組

水素社会の実現に向けた機運醸成を図り、産学官が連携した取組をさらに加速化するため、知事をトップとする「ひょうご水素社会推進本部」のもと、取組を推進する。

### ① ひょうご水素社会推進会議の設置・開催

産学官が参画するひょうご水素社会推進会議を設置・開催し、水素の新たな利活用策や国際的な水素拠点の県内立地等に向けた研究・取組を推進する。

### ② 水素を活用したエネルギーの地産地消モデルの確立に向けた取組

淡路島の豊富な再生可能エネルギーから製造・備蓄した水素を地域の施設やモビリティにおいて利活用するための可能性調査(FS調査)を実施する。

### ③ 姫路港への水素受入基地誘致に向けた取組

2030年頃の国際水素サプライチェーンの構築を見据え、姫路港を候補に水素基地の誘致に向けた取組を推進する。

- <内容>
- ・具体的な課題抽出や取組検討（ひょうご水素社会推進会議、姫路港カーボンニュートラルレポートの形成に向けた官民連携会議）
  - ・シンポジウムの開催による姫路港周辺企業等の機運醸成 等

### ④ 普及啓発イベントの展開

水素社会の実現に向けた県民理解の促進や機運醸成を図るため、水素エネルギーについて周知・啓発するイベントを開催する。

- <内容>
- ・水素の可能性や関連プロジェクトの紹介
  - ・水素体験コーナーの設置  
(水を電気分解して水素を取り出す体験等)
  - ・県庁見学の小学生に対する説明

[R3実績] イベントでの啓発ブースの出展  
(アンケート調査実施：306名から回答)



ふれあいフェスティバル in 神戸 (メリケンパーク) への出展

### ⑤ 燃料電池モビリティの導入促進 (環境部所管)

- ・水素ステーションの設置に要する経費を補助 (上限 5,000 万円)
- ・燃料電池自動車(FCV)の車両購入費を補助 (市町補助額の 1/2・上限 100 万円)
- ・燃料電池バスの車両購入費を補助 (1,000 万円(定額))
- ・燃料電池タクシーの車両購入費を補助 (50 万円(定額))

### ⑥ 成長産業育成のための研究開発への支援 (産業労働部所管)

- ・水素など成長産業分野に産学官連携で研究開発等に取り組む県内中小企業を支援
- ・水素分野を含む成長産業分野における新製品の社会実装を目指す県内中小企業を支援

### ⑦ カーボンニュートラルレポートの形成に向けた検討（土木部所管）

姫路港において、カーボンニュートラルレポートの実現を目指し、形成計画の策定に向けた検討を進める。

- ・水素・燃料アンモニア等の大量かつ安定・安価な受入環境の整備
- ・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化
- ・集積する臨海部産業との連携

#### <参考：国の動向>

第6次エネルギー基本計画（令和3年10月閣議決定）では、カーボンニュートラル時代を見据えた資源として水素を位置付け、2030年度の電源構成において一次エネルギーの1%を水素・アンモニアにより供給する見通しが示されている。

#### ○ 電源構成の見通し

	2019年度		2030年度
再エネ	18%		36~38%
水素・アンモニア	0%		1%
原子力	6%		20~22%
LNG	37%		20%
石炭	32%		19%
石油等	7%		2%

## 2 海洋エネルギー資源開発の推進

国内の海洋エネルギー資源として期待の高い表層型メタンハイドレートの開発を促進するため、「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」と連携した国への働きかけや、県民への広報活動を展開する。

### [令和4年度の取組]

#### (1) 啓発イベントの実施

メタンハイドレートに対する県民の理解促進に向け、啓発イベントを開催する。

<時期> 10～11月頃

<場所> 但馬地域

<内容> ・メタンハイドレートの開発状況等の紹介  
・専門家によるメタンハイドレートの燃焼実験 等

#### (2) 「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」の取組

日本海側の12府県で構成する「海洋エネルギー資源開発促進日本海連合」において、国への開発の働きかけやフォーラムの開催等を行う。

##### ① 国（内閣官房、経済産業省）への要望（R4.6）

- ・令和5年度予算（調査費等）の拡充、研究開発の着実な実施
- ・日本海側における広域ガスパイプライン整備の推進 等

##### ② 「日本海海洋資源フォーラム」の開催（R4：秋田県で開催）

#### <参考：国の取組>

国の研究開発は、太平洋側に多く存在する「砂層型メタンハイドレート」を中心に行われてきたが、日本海側で存在が確認された「表層型メタンハイドレート」についても、平成25年度から資源量や回収技術に係る調査研究が進んでいる。

#### <商業化に向けたスケジュール>

年度	内容
H25～ H27	・広域地質調査（ガスチムニー構造 <sup>※1</sup> 探索） ・地質サンプル採取
H28～R1	・採掘・分離・揚収に関する有望技術を特定
R2～R4頃	・特定した有望技術による生産システムの研究開発 ・海洋調査 <sup>※2</sup> の実施（ <u>但馬沖</u> 、上越沖、庄内沖）
R5～R8頃	・海洋産出試験の実施
R9頃まで	・民間企業が主導する商業化開始

※1 ガスチムニー構造：メタンハイドレートが存在する可能性のある特異的な地質構造

※2 海洋調査：メタンハイドレートの賦存量、海底状況（採掘機械の設置や機械掘削に耐え得る地盤強度を有するか等）、海底環境（水質・水温・プランクトン量等）に関する調査

### 3 発電所周辺地域の振興

電源三法（電源開発促進税法、特別会計に関する法律、発電用施設周辺地域整備法）に基づき、国の電源立地地域対策交付金を財源に、公共用施設整備などの住民の利便性向上のための事業や地域の活性化を支援する。

#### (1) 水力発電施設周辺地域交付金

水力発電所が立地している6市町に対して、道路、消防施設等のインフラ整備やソフト施策実施のための補助金を交付し、発電所周辺地域の振興を図る。

対象市町	対象発電所	主な事業（R3）
神河町	大河内、市川、南小田第一、南小田第二	町道本村・大川原線舗装修繕工事 等
穴粟市	原、野尻、草木、上野、安積、神野	市道横住線路面修繕工事
豊岡市	阿瀬、石井、岩中	栃本地区水路補修工事
香美町	矢田川	消防指揮車更新 等
養父市	横行	市道横行落久保青田線道路排水溝整備工事
朝来市	奥多々良木	市道柏上1号線道路改良工事 等

○交付対象：市町内水力発電所の評価出力が、合計1,000kW以上で、かつ、基準発電電力量の合計が500万kWh以上のもの

※火力発電所については、平成15年度の制度改正により、その時点から交付対象外

○交付期間：運転開始後15年経過以降から最大50年間

### III 総合的な水資源対策等の推進

#### 1 ひょうご水ビジョンの展開

平成27年度に改定した「ひょうご水ビジョン」のもと、水と共生する県民生活の構築を目指す。

##### (1) 水ビジョンの目標（めざすべき姿）：計画目標年次：2030年度

「水、さと、まちの共生 ～水を知り、水を活かし、水に備える～」

##### (2) 5つの基本方針による施策の展開

基本方針	取組内容
1 おいしい水をつくる	・森林等の適正管理と保全による水源かん養、 ・安定した水道供給の確保、 ・兵庫のおいしい「食」生活の推進
2 水をもっと上手に使う	・雨水、再生水、井水の利用推進、 ・節水生活の普及、 ・水のエネルギー利用の推進
3 水へのおそれ（畏れ、恐れ）を知り備える	・流域全体で取り組む治水対策等の推進、 ・防災教育と情報提供の推進、 ・渇水への備えの強化
4 水の豊かさを守る、つくる	・水辺環境の保全と創造、 ・生態系の保全と回復、 ・水循環全体の周知
5 水の文化、伝統を育む	・水文化の継承・創造、 ・伝統産業の振興、 ・水がつなぐ交流の推進

##### (3) 令和4年度取組

###### ① 水の作文コンクールの実施

広く水に対する関心を高め理解を深めることを目的に、国土交通省と共催で次代を担う中学生を対象とした作文コンクールを実施する。

[R3応募実績] 221編

[R3表彰(県)] 最優秀賞1編、優秀賞2編、入選9編

※厚生労働大臣賞受賞1編：(作品名)『エコ』の意義

###### ② 水の日広報イベントの開催

水の日(8/1)、水の週間(8/1～7)が設定された8月前後に、水の重要性について理解と関心を深めるため、利き水やパネル展示等を内容とする水の日広報イベントを開催する。

[R3]: 8/1 市川町



水の日広報イベント(市川町)

#### 2 水資源対策の推進

##### (1) 広域的な水資源調整

安定した水資源の確保や良質な水源の保全など、琵琶湖・淀川水系の広域的な水資源調整を行う。

##### (2) 渇水対策

渇水により県民生活等に重大な被害が発生する恐れがある場合には「兵庫県渇水対策本部」を設置するなど、対策等を講ずるための連絡調整を図る。